



徳島文理中学校 徳島文理高等学校



入学案内・要項 2027

Tokushima BUNRI
Junior High School / Senior High School

“人として世界の前に立つ時ぞ”

品位と知性を磨く教育環境だから
互いに高めあう生徒たちだから
夢実現をサポートする教職員チームだから

— こんな文理を私は選んだ —

建学の精神「自立協同」 支え合う学習集団

教育方針

- ・進学指導を中核とした人間形成
- ・21世紀をリードする国際人の育成
- ・品位と知性に富む豊かな人間性の育成

文理スタイルで “夢を育てた文理生”



最高の環境を与えてくれた文理

東京大学 理科 I 類
倉敷 信之介 (令和 8 年 3 月卒業)

私は小学校からの 12 年間を文理で過ごしました。生徒一人ひとりを尊重し、丁寧に導いてくださるこの学び舎で、私はのびのびと成長することができました。校内には資料や設備が豊富に揃っており、私の知識欲が尽きることはありませんでした。そして何より、共に文理で育った魅力的な仲間たちと互いに良い影響を与え合い、切磋琢磨してこられたことは、私にとってかけがえのない財産です。文理には、学校に必要なすべてのものが揃っていると確信しています。

中高の 6 年間はフェンシング部に所属し、高 3 の夏まで活動を続けました。これだけ長く部活動に打ち込みながら、現役合格という目標を果たせたのは、文理の充実した学習環境と受験対策があったからこそだと思います。

例えば、1 年分先の取り学習です。おかげでゆとりをもった受験対策ができました。また、定期考査と実力テストが月 1 回程度交互に実施されるため、一定の学習ペースを保つことができました。テストの難易度も適切に設定されており、高校 2 年生までに確固たる基礎力を築くことができました。

さらに、先生方は授業外でも熱心に個別対策をしてくださいました。図書室や進学指導室の豊富な資料も大きな支えとなりました。温かく丁寧に指導いただいた先生方、そして最高の環境を与えてくれた文理に、心から感謝しています。12 年間本当にお世話になりました。文理でよかったです！



文理だったからこそ

京都大学 工学部 情報学科
三木 悠真 (令和 8 年 3 月卒業)

僕が京都大学へ合格できたのは、文理中高の 6 年間の学びがあったからだと確信しています。恵まれた環境の中で、心身ともにのびのびと成長できました。

文理の最大の特長は、合理的な学習システムにあります。高校 2 年の終わりまでに全範囲を修了するカリキュラムはもちろん、校内テストや共通模試、記述模試が頻繁に実施されるため、常に自分の習熟度を客観的に把握することができました。近年、受験生の負担が非常に増えています。だからこそ、文理の「効率的に自分に最適な学習を組み立てられる環境」は大きなアドバンテージになりました。

また、校内に設置された自習ブースの存在も不可欠でした。ここを利用することで、日頃から自習する習慣が自然と身につく、テストごとに PDCA のサイクルを回す力を養うことができました。中高一貫校だからこそ、このような大学受験に繋がる「基礎力」と「継続力」を確立できたのだと感じています。

二次試験の直前まで支えてくださり、後期試験の補習まで熱心にご指導いただいた先生方には感謝の念に堪えません。また、切磋琢磨し共に高め合った友人たちとの時間は、僕の生涯の財産です。文理だったからこそ充実した 6 年間で、京都大学という新たな夢を切り拓くことができました。本当にありがとうございました！

私の
選択

文理で夢を叶える!



令和8(2026)年度入試の合格実績 (卒業生 86名)

難関国公立大学等		佐賀大学(医)	1	法政大学	2	国公立大学医学科		順天堂大学	2
		国公立その他	11	麻布大学(獣医)	1			東京慈恵会医科大学	1
東京大学(理I)	1	合計	41	同志社大学	2	九州大学	1	日本医科大学	1
京都大学(工)	2	難関私立大学等		立命館大学	7	岡山大学	1	東海大学	2
大阪大学 (文・外・基工2・医・歯)	6	徳島文理大学 (薬3)	5	近畿大学(医1)	8	広島大学	1	聖マリアンナ医科大学	1
北海道大学(理)	1	慶應義塾大学(医1)	2	大阪医科薬科大学(医2)	3	徳島大学	6	愛知医科大学	2
東北大学(薬)	1	早稲田大学	4	私立大その他	64	佐賀大学	1	関西医科大学	1
九州大学(医)	1	東京理科大学	5	合計	108	合計	10	近畿大学	1
岡山大学(医1)	2	順天堂大学(医2)	3	防衛大学校	1	私立大学医学科		大阪医科薬科大学	2
広島大学(医)	1	上智大学	1	総計	150	慶應義塾大学	1	兵庫医科大学	2
徳島大学 (医6・歯1)	14	明治大学	1	2026.4.1現在 (医は医学科、歯は歯学部、 薬は薬学部)		自治医科大学	2	川崎医科大学	3
						国際医療福祉大学	1	久留米医科大学他	3
						合計		合計	25

東大・京大、国公立大医学科そして、難関私立大など
行くべき大学に行く！ 行ける！

文理で世界を変える人になる!

POINT 東大・京大・阪大等 難関国公立大に強い

東京大1(理I) 京大2 大阪大6 北海道大1
東北大1 九州大1 など



POINT 医学科 に強い 35名 **県内No.1**



慶應大医3年連続、東大理Ⅲ過去10年で5名

九州大1 岡山大1 広島大1 徳島大6 など 国公立大医学科10名
自治医科大2 慶應大1 慈恵医大1
日本医大1 順天堂大2 関西医科大1
大阪医科薬科大2 兵庫医科大2 など 私立大医学科25名

POINT 早慶等 難関私立大に強い

早稲田大4 慶應大2 上智大1 東京理科大5 関関同立11 など

難関大学合格数 過去10年間

東京大学 (理Ⅲ・医学科：5)	15
京都大学 (医学科：3)	15
大阪大学	25
北海道大学・東北大学	9
名古屋大学	2
九州大学	11
国公立大学医学科 (徳島大医学科：80)	144
私立大学医学科	151
徳島文理大学	146
早稲田大学	111
慶應義塾大学	38

※外進生(過去16年間161名)の進路
東大2、京大1、阪大6、北大1、名大1、九大3
国公立大医学科26(内徳大16)16.1%、国立大84 52.2%



国公立とは
ココが
違う！

私立中高6年一貫 文理

先を見る
確かな
対応力

主体的・対話的で深い学びをめざす新高等学校学習指導要領に基づく「大学入学共通テスト」は、2回目の昨年度は1回目と比較して全体的に難化しました。問題文はより長く複雑になるなど、これまで以上に読解力が求められるようになりました。また、知識の量に加えて、それらを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力が、よりいっそう求められるようになりました。

本格的な思考力・判断力を問う問題が増えた結果、多くの科目で得点が抑えられました。一昨年度新しく加えられた「情報Ⅰ」も2回目は難化しました。各大学の二次試験も出題傾向が大きく変わってきています。

私立中高6年一貫文理スタイルでは、先取り学習によって高3の1年間、余裕をもって新傾向の共通テストや二次試験に対する効果的な対策ができます。ココが国公立高校との大きな違いです。

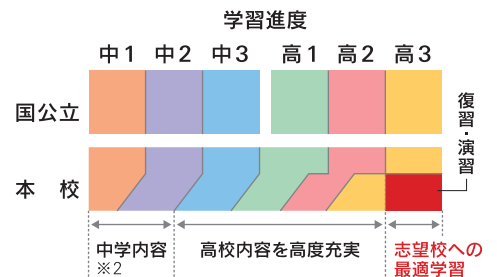
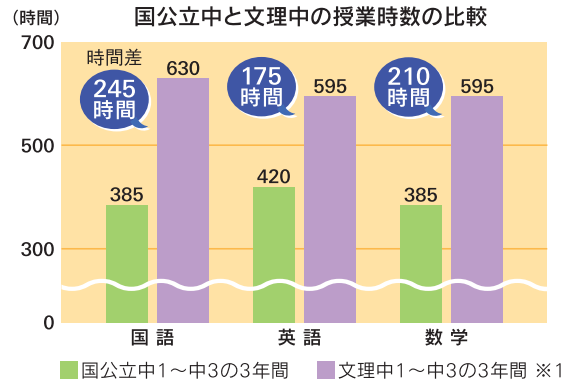
文理だからできる 大学新入試への対応力が違います

ココが違う！
Point
1

充実した中高6年一貫独自カリキュラムは、計画的・継続的な先取り学習ができるだけでなく、その内容・指導法が違います。

ゆとりある授業時数

中学1・2年の2年間で、国公立中学3年間より多い授業時数を確保し、ゆとりをもって中学内容を学習し、一人ひとりの豊かな潜在力を伸ばします。一人ひとりができるまで、そしてできるまで最高の教師陣が寄り添います。中学3年間では、国公立中学より国英数では630時間も多い授業時数となります。



教科書のそのうえに

中学1・2年の英語では、教科書に加えて全国の私立中高6年一貫校と同じ教材「プログレス」を使用しています。また、英検3級以上を中3までに、英検2級以上を高3までに全員取得することをめざします（毎年30人程度の生徒が準1級を取得しています）。数学は、体系問題集を発展編まで学習します。

スタイルだからできる!

ココが違う!
Point
2

中3から高2の3年間で、経験豊かな教師陣が一人ひとりに高校内容を基礎からじっくりと時間をかけて、充実した指導をします。進路に応じた、きめ細かい高度な指導です。高3の最後の1年間は、志望校に向けた最適学習ができます。

私立中高6年一貫文理スタイルだから
新傾向の問題に対応できる

「大学入学共通テスト」や各大学の二次試験の出題傾向が大きく変わり、読解力・思考力・判断力・表現力がよりいっそう求められています。これまで以上に高3の1年間の志望校に向けた最適学習が、ますます真価を発揮します。国公・私立大の文系・理系はもちろん、東大・京大等最難関大の二次試験まで対応しています。

◎ 中高6年間を見通した一人ひとりを生かす教育計画

学年	発展段階	クラス編制				特徴
中1	基礎期	均等割クラス編制				<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の定着 授業内容（中1～中2）
中2	基礎充実期	習熟度別クラス編制				<ul style="list-style-type: none"> 習熟度に応じた指導 授業内容（中2～中3）
		発展クラス	応用クラス			
中3	充実期	発展クラス	応用クラス			<ul style="list-style-type: none"> 大学・学部研究 授業内容（高1）
高1	充実期	発展クラス	応用クラス (内進生・外進生)			<ul style="list-style-type: none"> 大学オープンキャンパスに参加 授業内容（高2） ※外進生：進度に応じた指導
高2	発展期	文系 発展	理系 発展	文系・理系 応用	文系・理系 難関	<ul style="list-style-type: none"> 本格的な受験勉強 授業内容（高3） 進路・習熟度に応じた指導（文系・理系）
	応用期					
高3	志望校に応じた最適学習（コース制）		進路・習熟度別授業（自由選択制）			
	私立難関大 文系コース	私立難関大 理系コース	国公立大 文系コース	国公立大 理系コース	国公立難関大 文系コース	国公立難関大 理系コース
	英国社 32時間(週)	数英理 29時間(週)	共通テスト対策重視		難関大二次試験対策重視	

志望大学・学部 合格

国公立とは
ココが
違う！

私立中高6年一貫 文理

一人ひとりの
高い志や夢を
かたちにします

支え合い教え合う
切磋琢磨の場を
つくります

生徒の夢が学校の夢。生徒の夢を大きく育て、夢の実現を全力で支援すること、一人ひとりの夢の実現が学校の願いです。同じ志をもつ生徒どうしが励まし合い、切磋琢磨しながら全員で第一志望合格という共通の目標に向かいます。「第一志望はゆずれない」「行ける大学ではなく、行きたい大学を母校にする」が合言葉です。教員の経験に裏打ちされたアドバイスと、OB・OGの大学生が勉強法や各大学の特色、大学での生活について詳しく語ってくれる大学別合格者座談会や各種講演会、特設スーパー講座、各界の最先端で活躍するOB・OGが仕事について語ってくれるキャリア教育プログラムなどを通して夢を大きく育てます。

卒業後も固い絆で結ばれた各界で活躍する先輩をはじめとする、チーム文理が一人ひとりの夢や志を全力で応援し、「探究し学ぶ心 挑戦し達成する力」を培います。これが、文理スタイルなのです。

文理だからできる 仲間と協同する力を育みます

学校行事でも思いっきり楽しみ、仲間と助け合い頑張りながら目標を達成します。勉強も「第一志望はゆずれない」「行ける大学ではなく、行きたい大学を母校にする」を目標に、同じ志をもつ者どうしが仲間として支え合い教え合います。

ココが違う！
Point
1

スーパースタディ (S.S) と自学道場 (自主学習ホール・ブース) で合格力をつけ協同する力を育みます。

■ スーパースタディでは、生徒が先生として互いに得意分野を教え合います。「自立協同」を具現化した文理スタイルです。また、自学道場 (ホール・ブース) では、自主学習をしますが、低学年ではサポートスタディで教師がサポートします。



■ ホール・進学資料室のブースでは、静かに自習することができます。平日は19時まで、日曜・祝日も17時まで開放しています。



ココが違う！
Point
2

『文理小論』で課題を発見して解決する力、思考力や表現する力を養います。

■ 中3～高3生に様々な分野からのテーマを出題。生徒は自ら選んだテーマについて自身の考えを小論文として表現します。各学年の優秀作品を集めた小論文作品集が『文理小論』です。



ココが違う！
Point
3

人気の特設スーパー講座が合格力を側面から支えます。

■ 駿台予備学校・代々木ゼミナール講師による英・国・数3教科の特設スーパー講座。最新の大学入試を分析し、わかりやすく講義します。



スタイルだからできる!

文理だからできる 世界の人びとの夢を叶える人材を育成します

東大・京大、医学科などの難関大学に多くの生徒を送るというだけでは、喜びは半分にすぎません。合格の達成や希望する仕事に就くことはゴールではありません。時代とその先が求める志と豊かな心を持ち、物事の本質をとらえ、世界や日本、地元徳島の課題解決の先頭に立ち、どんな困難なことにも立ち向かい、人びとが待ち望む夢を叶え、人のために尽くせるリーダーを育てます。

キャリア教育プログラム

ココが違う!
Point
1

各界の最先端で活躍する人びとや OB・OG が仕事について語ってくれます。

総合的な学習・探究

「防災」(中1対象)

文理大学教授や防災士の方に出席授業にお越しいただき、他人事ではなく自分事と考え行動できるよう、学びを深めました。



「職業研究プレゼン発表大会」(高2対象)

就きたい職業について各自で研究し、その成果を学年発表会でプレゼンし、質疑応答します。

各界トップを招いての講演会 (全校生対象)

2025年度は MyDearest 株式会社 岸上健人先輩による「スタートアップのおもしろさ」の創立記念講演会を行いました。



「キャリア教育」(高1・高2対象)

各分野で活躍する人や OB・OG、最先端研究者による講演が未知の扉を開けてくれます。



ココが違う!
Point
2

合格体験報告会や座談会で、先輩大学生が大学での生活を語ってくれます。

勉強法や各大学の特色なども詳しく聞けます

合格体験報告会(3月)・大学別合格者座談会(8月)

合格したばかりの先輩大学生が生々しい合格体験や勉強法、大学生活について詳しく教えてください。



東大で学ぶ「問題解決のための解決法」

毎年、東京大学構内で宇野健司先生によるアクティブラーニング型授業をお願いしています。ディスカッションの進め方や主体的に議論に参加するための心構えを実践的に学んでいます。



ココが違う!
Point
3

活躍する先輩に出会い、世界が広がっていきます。

東京研修・先輩によるプレゼンと職場訪問(高1)

活躍する OB・OG の職場、企業・省庁・研究機関などを訪問します。夜には東京で活躍する OB・OG が駆けつけてくれ、様々な仕事や職場についてプレゼンしてくれます。丸紅・住友商事・ピクシブ・朝日新聞・国土交通省・外務省・法務省などを訪れています。



教職員チームの願いは一つ 生徒の成長が私たちの喜びです。



達成感が得られる授業、よくわかる授業、楽しい授業を通して、生徒の自己肯定感を育みます。

自分の力を信じ、夢に向かって頑張る生徒を全力でサポートします。「文理でよかった！」この一言が私たち教職員の原動力です。



先生からのメッセージ



西 憲治 先生 (担当：英語)

志望校に合格するには、学力が必要です。例えば英語では、英単語を覚えます。英単語を覚えようとする、なかなか覚えられない自分に気がつきます。また、さらに新しい単語を覚えることを継続しなければなりません。一生懸命になればなるほど、覚えられない、続けられない等の「弱い自分」がつかつけられます。「弱い自分」に3年間向き合い続けると、志望校に合格する学力が身につきます。卒業式で見る顔は、大人になったことを実感させてくれます。学力を身につけるには、弱い自分を克服する強い人間力が必要です。是非、文理中高で、英語力を高め、進路獲得の学力を身につけ、大きな「人間」になってください。



小坂 舞 先生 (担当：保健体育)

近年、徳島県でも「健康寿命の延伸」は最重要課題です。「保健体育」では、「体育」で健やかな心身を育み、「保健」で正しい知識を学びます。その両方を通じ、自ら情報を探し、正しく理解・活用する力「ヘルスリテラシー」を養います。この力こそが将来の生活の質(QOL)を向上させ、生涯の「健康」をデザインする鍵となります。自分自身の生活習慣を振り返り、リデザインすることで、今後の生活が変わることも学びます。他者との対話を通じて多角的な視点に触れ、視野を広げ、一人ひとりの深い理解と豊かな学びへ繋がります。文理中高での日々を通じ、将来を自由に楽しく生き抜く「一生モノの力(財産)」を共に身につけましょう。



仲岡 宏紀 先生 (担当：数学)

数学には、数式を解く楽しさ、図形を描く面白さ、解法を思考する過程の充実感、そして概念を深く理解していく喜びがあります。私は、そうした多様な「数学の楽しさ」に寄り添う授業を心がけています。また、生徒一人ひとりが理解を深められるよう、質問対応や解説動画の配信、個別課題の提供など、授業外のサポートにも力を入れています。限られた時間の中で効率よく数学力を伸ばすことが目標です。

徳島文理中学・高等学校には、挑戦を後押しする雰囲気があります。仲間と切磋琢磨しながら、自分だけでは届かなかった目標も実現できる——そんな環境で、ぜひ一緒に学びましょう。



各種コンクール受賞 (2025年度) 生徒の長所を伸ばす学びの成果が、毎年全国的に高く評価されています。

■徳島県高校総合体育大会テニス競技

- ・女子シングルス/優勝
- ・四国大会 インターハイ出場

■第63回 四国中学校総体 ソフトボール

- ・第4位

■第47回 全国中学校ソフトボール大会

- ・1回戦

■第65回 徳島県中学生新人大会 ソフトボール

- ・優勝

■第31回 四国中学生新人大会 ソフトボール

- ・準優勝

■第61回 徳島県高等学校春季大会 ソフトボール

- ・第3位

■令和7年度徳島県高等学校総合体育大会 剣道競技

- ・男子 団体/第3位 個人/ベスト4
- ・女子 団体/第3位 個人/ベスト4

■令和7年度四国高等学校選手権大会

- ・男子 団体/出場 個人/出場
- ・女子 団体/出場 個人/出場

■第59回 徳島県高等学校剣道選手権大会

- ・女子個人/ベスト8

■第70回 男子徳島県高等学校剣道新人大会兼全国選抜大会県予選会

- ・男子団体/準優勝

■第26回 四国高等学校剣道新人大会

- ・男子団体/出場 女子個人/出場

■第54回 徳島県中学校剣道選手権大会

- ・男子団体/第3位

■第79回 徳島県中学校総合体育大会 中部ブロック予選 剣道競技

- ・男子 団体/準優勝 個人/準優勝・第3位
- ・女子個人 ベスト8

■第79回 徳島県中学校総合体育大会 剣道競技

- ・男子 団体/第3位 個人/準優勝

■第62回 四国中学校総合体育大会 剣道競技

- ・男子個人/準優勝

■令和7年度全国中学校体育大会 第55回 全国中学校剣道大会

- ・男子個人/出場

■第50回 徳島県中学校新人剣道大会

- ・男子団体/準優勝

■第21回 四国中学校新人剣道大会

- ・男子 団体/出場 個人/第3位

■第64回 徳島県高校総体 フェンシング競技

- ・男子団体・女子団体/優勝

- ・男子個人 フルレー/準優勝 エペ/優勝・準優勝 サーブル/優勝・準優勝

- ・女子個人 エペ/優勝

■第5回 徳島県中学生フェンシング大会

- ・男女団体フルレー/優勝

- ・男子個人 フルレー/優勝・準優勝 エペ/優勝・準優勝 サーブル/優勝

- ・女子個人 エペ/準優勝 サーブル/優勝・準優勝

■第15回 四国高等学校フェンシング選手権大会

- ・男子団体フルレー/優勝

- ・女子団体フルレー/準優勝

- ・男子個人 フルレー/第3位 エペ/第3位

- ・女子個人 エペ/第3位

■第11回 全国中学生フェンシング大会

- ・出場

■第71回 全国高等学校フェンシング選手権大会

- ・男子団体フルレー/ベスト16

■令和7年度四国選手権大会

- ・男子個人 フルレー/第3位 エペ/第3位

- ・女子個人 フルレー/第3位 エペ/第3位

- ・サーブル/第3位

■第79回 国民スポーツ大会フェンシング競技

- ・少年男子/出場

■第33回 JOC ジュニアオリンピックカップフェンシング大会中四国ブロック予選

- ・中学男子/第3位 中学女子/第3位

■第5回 徳島県高校新人フェンシング選手権大会

- ・男子個人 フルレー/優勝・準優勝 エペ/

- 優勝・準優勝 サーブル/優勝・準優勝

- ・女子個人 エペ/準優勝 サーブル/準優勝

■第5回 徳島県中学新人フェンシング大会

- ・男女団体フルレー/準優勝

- ・男子個人フルレー/第3位

■第50回 全国高校選抜フェンシング大会四国地区予選会

- ・男子団体 フルレー/優勝 エペ/準優勝

■第50回 全国高校選抜フェンシング大会

- ・男子学校対抗フルレー/ベスト8

■とくしまスポーツアワード2025 スポーツ優秀者賞

- ・徳島文理高校フェンシング部男子フルレー

■令和7年度徳島県藍青賞

- ・徳島文理高等学校フェンシング部

- ・徳島生団体部同好会

■第44回 徳島県高校総合文化祭 美術部門

- ・奨励賞

■第21回 徳島県子ども美術展

- ・入選

■愛鳥週間ポスター

- ・優秀賞

■第44回 徳島県高校総合文化祭 茶道部門

- ・奨励賞 4名

■令和7年度四国地区代表として茶道裏千家お家元での京都研修

- ・参加 1名

■第13回 オレンジページ×味の素ジュニア料理選手権

- ・中学生団体部門/準グランプリ

- ・高校生団体部門/優秀賞

■2025年度 寺子屋リーフレット制作プロジェクト

- ・佳作 徳島文理中高家庭科同好会

■2025年度 SDGs QUEST みらい甲子園徳島大会

- ・阿波銀行賞 徳島文理高等学校

■第18回 高校生模擬裁判選手権 四国大会

- ・優勝 徳島文理高等学校

充実の学校行事

4月
April

- 入学式
- 始業式・対面式
- オリエンテーション
- 体育祭

5月
May

- 生徒会役員選挙
- 保護者会総会
- 生徒総会

6月
June

- 徳島県高校総体
- 徳島市総体（中学校）
- 海洋研修
（中1／阿南 YMCA）

7月
July

- オープンスクール
- 徳島県中学総体
- 球技大会（理事長杯）
- 終業式
- オーストラリア海外語学研修（中3）

8月
August

- 大学別合格者座談会
- 文化祭

9月
September

- 始業式
- 人権講演会
- 東京研修（高1）
- 医学部入試説明会
（高2・高3）
- オーストラリア・シドニーキララ校・来校



学年毎の特色ある研修旅行



中学1年生 海洋研修（1泊2日）



中学2年生 広島研修（1泊2日）



中学3年生 スキー研修（3泊4日）



高校1年生 東京研修（3泊4日）





- 英語検定
- 保護者会中学部会
- 普通救命講習会 (中2)
- 特設スーパー講座
- 文理杯争奪剣道大会
- 防災訓練
- 音楽鑑賞会 (中1)

10月
October

11月
November

- 保護者会高校部会
- 進学講演会 (高1・高2、保護者)
- 創立記念各界トップ講演会
- 広島研修 (中2)
- 人権弁論大会
- 美術鑑賞 (中1)
- 数学オリンピック

- 薬物乱用防止教室 (高1)
- 終業式

12月
December

- 始業式
- 共通テスト激励会

1月
January

- スキー研修 (中3 / 長野県)

2月
February

- 卒業式
- 球技大会
- 合格体験報告会
- 終業式

3月
March



オーストラリア海外語学研修

グローバル社会で世界を舞台に活躍することを願って、中学3年生を対象に海外語学研修を実施しています。二人一家庭のホームステイをベースに、本校生のための特設授業、現地の生徒と一緒に受ける授業、楽しい各種アクティビティなど、魅力的なプログラムになっています。特に、ホストファミリーや現地の生徒との温かい交流が忘れられない思い出となります。

- 【募集人数】 20～40名程度
- 【研修地】 オーストラリア・シドニー
- 【研修期間】 7月下旬～8月中旬 (15日間)



文理の 一日



8:40～8:50 総合学習

ページをめくる音だけが響く静謐な時間。本の世界が豊かな心を育てます。



11:00～ 授業

授業はいつも真剣勝負。知識の習得・定着が格段に飛躍してきています。



8:00頃 登校

「おはようございます」朝から明るい声が響いています。



9:00～ 授業

主体性を育む授業で生徒のやる気を引き出します。



どのメニューも美味しいから
会話が弾んでくるよね！

12:50～ 昼食

食堂では食べ盛りも大満足の豊富なメニューや各種デザートが人気です。

校時表

総合学習	8:40～8:50
S H R	8:50～9:00
第1限	9:00～9:50
第2限	10:00～10:50
第3限	11:00～11:50
第4限	12:00～12:50
昼食	
第5限	13:30～14:20
第6限	14:30～15:20
第7限	15:30～16:20

中学1年生のクラス 時間割(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習
1	理科Ⅱ	理科Ⅱ	理科Ⅰ	国語	家庭	理科Ⅱ
2	代数	道徳	歴史	幾何	歴史	幾何
3	英語α	保体1	英語β	英語β	国語	代数
4	国語	英語β	国語	美術	地理	英語α
5	理科Ⅰ	代数	技術	地理	保健体育	
6	音楽	国語	保健体育	書道	英語α	
7	総合学習				学級活動	

高校1年生のクラス 時間割(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習	総合学習
1	英コミ	保健体育	現国	英コミ	古典探究	地・歴
2	地・歴	生物基礎	英コミ	芸術	物理基礎	言語文化
3	化学基礎	数学	数学	情報	地・歴	現国
4	数学	英コミ	化学基礎	保健体育	数学	情報
5	保健体育	物理基礎	論理表現	数学	論理表現	
6	生物基礎	数学	地・歴	論理表現	現国	
7	総合学習		言語文化		L H R	

※第7限…中学校では月曜日と金曜日に、高校では月曜日・水曜日・金曜日にあります。また、土曜日は第4限までです。



13:30 ~ 授業

わかる喜びに生徒の瞳は輝いています。



14:30 ~ 授業

ITを活用した授業も楽しく取り組んでいます。



15:45 ~ 放課後

毎日、予習・復習には余念がありません。



昼休みの読書も
楽しいなあ!!



~ 13:30 昼休み

約3万冊の蔵書を誇る図書館。本の世界に浸る豊かな時間が人間性を育みます。



15:30 ~ 清掃

清掃は心磨きの時間です。ピカピカになった教室は気持ちいい!



16:00頃 部活

体力はもちろん、集中力や強靱なメンタルを培います。

■ 講師を招いた特別授業 多彩な講師の授業も魅力の一つ。



外部講師授業「AIプログラミングを体験しよう」



講演会「内視鏡外科手術のこれまでとこれから」



特設スーパー講座

■ やる気を引き出す授業と放課後の個別指導 わかる喜びを知った生徒は、どんどん伸びていく。



活躍する部活動・同好会

文理中高は、部活動も盛り上がっています。勉強と



Make History

サッカー部

「誰からも応援されるチーム」をめざして、学業とサッカーに全力で取り組んでいます。他校との練習試合、Jリーグのボランティア活動を通してサッカー技術はもちろん、技術以外の多くのことも学んでいます。

サッカー部

人間性を磨き、日々成長!

バスケットボール部

中学生と高校生がともに活動し、チームのスローガンとして『輝笑』を掲げています。バスケットボールが好きだという気持ちを忘れず、一人ひとりがコートで輝き、楽しみながら練習に取り組んでいます。

バスケットボール部

日本の伝統文化を体験する

茶道部

裏千家の外部講師の先生をお招きし、毎週木曜日にお茶室「一珠庵」で、中学生と高校生で楽しく活動しています。部活動では季節折々の生菓子とお茶を頂きながら心を静めることができます。



茶道部



ソフトボール部



硬式テニス部

美しいハーモニーを奏でる

吹奏楽部

クラシックからポップスまで幅広く演奏しています。先生方や徳島文理大学音楽学部の学生さん等、多くの方から指導を受けられるのも魅力です。音楽を楽しみながら、みんなで成長しています。



吹奏楽部



将棋部

じゃあ、実験してみよう!!

物理学同好会

「卵は落としたり割れる。どのくらいの高さから?」日常にあふれた何気ない疑問。役に立たないかもしれない疑問。青春が今ここに!!



フェンシング部

フェンシング部

創部8年目を迎え、全国高校選抜大会では、男子フルーレが2年連続でベスト8に入賞しました。全国でも屈指の強豪校へと成長し、そのメンバーから東京大学理科I類に合格者も出ています。まさに文武両道を体現している部活動です。

徳島文理
(徳島)

数学的な思考力を身につける

数学研究部

数学研究部は中学生を中心として数学ジュニアオリンピック出場をめざして活動しています。時には解答にない素晴らしい解法を見つけ出して楽しく問題を解いています。



音楽部

両立させながら、県内外で活躍している生徒がたくさんいます。



美術部

仲間と本気になれる場所

英語ディベートを楽しもう!

ディベート部

ディベートは、相手を論破するものではなく、自分の友達や同じ年齢層の人が、全く同じ考え方をしていたり、想像も付かない発想をしていたりと、様々な意見や考えを持っているのを発見する活動です。



剣道部

剣道部

「文武不岐」の部訓のもと、剣道と勉学に真剣に取り組むことにより人間形成を行うことを目的に活動しています。短時間の練習で汗を流し、中学生・高校生ともに全国大会への出場をめざしています。



本質を知ると面白い!

数理研究同好会

Newtonの記事やJMO・IMO、入試問題などを題材に議論や講義を行い、数学や理科を日常と結びつけながら深く学んでいます。試験前には難問演習や教え合いも行い、学びを楽しむ雰囲気があります。



書道部



念願の自主公演を実現!

演劇部

2025年度6月「兎、江戸を疾駆る!」、8月「誘拐犯とは俺たちだ!」、11月「怪綺十三夜」、そして2月、遂に念願の第1回自主公演「神の左手、羅刹の右手」を上演し、テレビクシマにて放送されました。唯一無二のエンタメ時代劇を作り続ける、日本一面白い演劇部です!

家庭科同好会



エンジョイケミストリー!!

化学部

教科書に載っているような本格的な実験や、部員がリクエストした興味深い実験を、みんなで楽しく行って、化学への理解を深めています。学期末には、アイスクリームパンケーキを作ります。

化学部



演劇部

2026年度 部活動・同好会一覧表

体育系		文化系				
陸上競技	バドミントン	ディベート	放送	吹奏楽	数理研究同好会	
サッカー	卓球	囲碁	書道	数学研究	演劇	
ソフトボール	剣道	将棋	化学	鉄道研究	物理学同好会	
バスケットボール	硬式テニス	写真	音楽	家庭科同好会		
バレーボール	フェンシング	美術	生物観察	茶道		

※上記以外の活動についても、対外試合に出場できるように配慮しています。

生徒の安全・安心と快適 そしてエコロジー



自学道場（ブースとホール）

自習用のブース席とホールがあり、また各大学の入試問題集をすぐ手に取れる書棚がそなえられています。



お茶室（一珠庵）

一珠庵（左）と千宗室お家元の揮毫（右）

平成 22 年に裏千家千宗室お家元をお招きし、一珠庵（茶室）の扁額除幕・茶室披き・お家元の講演が行われました。これらも豊かな人間性を育てる情操教育の一環です。



ICT 機器の活用

各教室にプロジェクターを設置し、タブレットを必要数購入して、ICT 機器の積極的な活用に取り組んでいます。



太陽光発電や耐震性・快適性

本館屋上の太陽光パネル（左）と玄関横の発電表示（右上）
地球環境への配慮と不意の災害にも強い耐震性を完備しています。非常用トイレやブランケット等も備蓄しています。

環境に配慮した安全・安心な施設・設備のもと、生徒は快適な学園生活を送っています。
緊急避難場所でもある建物には、全員分の食料と飲料水が備蓄（3日分）されています。



図書室



書道室



本館各階にあるラウンジ



体育館



剣道場



トレーニング場



非常用備蓄品



食堂

卒業生からの Message 文理中高で得たこと、社会に出て思うこと。



絶対文理に入ってほしい

MyDearest 株式会社
代表取締役 CEO

岸上 健人さん
平成 21 年度卒

私は幼稚園～高校まで徳島文理に通いました。その後、慶應義塾大学経済学部を卒業しソフトバンク株式会社に新卒入社後の 2016 年に MyDearest 株式会社を創業しました。私は「文理に行かなかったら今の自分は絶対にいない」と断言できます。全く勉強ができずやり方がわからない子供だったのですが、学ぶことを奨励する校風、同級生達の頑張る様子に刺激を受け私の人生が変わりました。上を目指す生徒を応援してくれる先生方、そして中高一貫という 6 年間で生涯の友人もでき、今では社会で活躍する同級生達がビジネスで協力もしてくれます。この文章を読んだら絶対文理に入ってほしいです！



努力を惜しまない

ピクシブ株式会社 執行役員
ピクシブプロダクション(株)

東根 哲章さん
平成 8 年度卒

「自立協同」、支え合う学習集団という教育方針。中高時代は全くピンときていませんでした(笑) 今になってようやくこの言葉の意味がわかりました。社会で生き抜くためには、問いを立てる力、やり抜く力が重要なだけでなく、チームの中で自分が貢献することも必要になる。医師や弁護士のような資格職でも基本必要。自立しつつ、チームの成功のために動ける人が強い。勉強やスポーツ、芸術、仕事どれも同じ。人に教えることで自分の理解度も上がる。「自分だけ良ければ良い」という考えは、自身の成長をも止めてしまう。仲間と高め合うことを今のうちから意識することを強くお勧めしたいです！



未来へつながる第一歩

徳島大学 消化器・移植外科

西 正暁さん
平成 9 年度卒

徳島大学医学部を卒業し、現在は徳島大学病院で胃癌や大腸癌に対する腹腔鏡・ロボット手術に従事しています。日々、手術をする中で思うことは準備の重要性です。知識や技術に加え、手術前に限界まで準備をすることが安全で質の高い手術につながると考えています。

文理中高の 6 年間は将来にむけての大切な準備期間であり、最適な環境が整っています。

私にとっても文理中高がその後の大学生活・医師人生の礎となりました。全力で学び、遊び、挑戦し、かけがえのない友人達と切磋琢磨し、大きく羽ばたいてください。



かけがえのない宝物

ユニゾン・キャピタル株式会社
代表取締役

林 竜也さん
昭和 61 年度卒

東京大学法学部を卒業後、英語もできず金融の知識もないまま当時日本で新卒採用を始めたばかりの米系証券会社に就職しました。その後、当時日本で存在していなかったプライベート・エクイティ投資の会社を仲間と起業し、今年で 27 年目になります。

高く跳躍するには強固な足場が不可欠。縁あって特進コースの 1 期生となり、少年ジャンプだけを心の頼りに勉強漬けで過ごした寮生活。文理高校での濃密な 3 年間は、今も付き合える友人を得て、初めてだからこそ面白いと挑戦を重ねるその後の自分の確かな礎となった、かけがえのない宝物です。



困難な道を選択する

京都大学大学院
医学研究科
博士課程

山城 春華さん
平成 18 年度卒

私は京都大学医学部を卒業後、6年間診療に従事したのち、京都大学大学院に進学しました。現在、iPS細胞を用いた研究に取り組み、専門である肺の疾患の病態解明や再生医療の実現を目指しています。思えば、中高時代の恩師の「道が分かれて迷った時は難しい方の道を選びなさい」という言葉が人生の指針となっています。どんなに困難な道に見えても、自分の求めるものがあるなら挑戦し、達成するために努力・行動することが自分の成長に繋がると実感するからです。そして、挑戦する姿勢を共有できる志の高い友人に文理で出会い、勉強に遊びに全力投球した経験は、かけがえのないものです。



全ては文理から始まった

公認会計士・税理士
アクシスグループ代表
税理士法人アクシス代表社員

川人 広平さん
平成 19 年度卒

私は文理から東京大学経済学部に進学後、公認会計士・税理士の資格を取得し、現在は税理士・社労士・行政書士・コンサルなどからなるアクシスグループの代表をしています。その全ての原点が徳島文理にあります。本気で剣道に打ち込んだ青春時代、県下トップクラスの仲間達や先生方、スピーディな教育カリキュラムに支えられ、一生懸命勉強し志望校に合格した成功体験により自信が付き、「努力すること」自体が楽しくなりました。それが好循環の原点となり、その後の資格取得や企業経営に活かしています。一生ものの「成功体験」を得られる環境が揃っています。本当に文理に通って良かったと思います。



叶わない夢はない

外務省国際法局
国際法課 課長補佐

柏口 温子さん
平成 14 年度卒

みなさんは、10年後、20年後、どんな自分になっていたでしょうか。理想の自分、なりたい自分を想像したとき、仮に今は手が届かないように感じたとしても、頑張り続ける限り叶わない夢はない。努力していると、それまで雲の上と思っていた人と一緒に仕事をしたり、足を踏み入れることなどないと思っていた場所に何度も赴いたりということが次々起こる。自分が知らなかった世界がどんどん広がっていく。自分が果たす役割も大きくなる。

実に、人の可能性は無量大。さあ、わくわくする人生への扉を開こう！

卒業後も続いていく絆

卒業してからも生涯ずっと「文理でよかった」といえる学校でありたい。文理中高は世界や日本、徳島の課題に立ち向かうため、先頭に立ち課題を解決できるリーダーを育てる徳島で一番輝く学校でありたい。活躍する卒業生が本校を照らし、文理中高も卒業生も互いに照らし合う、そんな学校でありたいと願っています。

■ 10年ごとのホームカミング

2026年1月の「村崎学園創立130周年記念 徳島文理中学校・高等学校ホームカミング」には、本校を会場とした第一部とホテルを会場とした第二部に、合わせて1,000人近くの卒業生と家族が集い絆を深め合いました。



130周年記念ホームカミングで恩師と歓談する卒業生

保護者の声 「文理に入ってよかった」

入学して1年間を終えて

中学2年生 保護者

●徳島文理中学校に入学して、はや1年が過ぎました。はじめは小学校から中学校という環境の変化に戸惑いもありましたが、先生方の手厚いサポートやお友達の支えもあり、今ではすっかり中学校の生活に馴染んでいます。1年間を終えて、子どもの成長に驚きを感じる日々です。最も成長を感じたことは、自分で考え行動する自律性が身についたことです。自ら勉強する姿勢を見て、文理中学校に通わせて本当に良かったと思いました。これからも熱心に指導してくださる先生方や切磋琢磨し合えるお友達と共に、充実した学生生活を過ごしてほしいと思います。

●入学してからの1年間は、親子ともにあっという間でした。最初は、新しい環境に馴染めるのか不安もありましたが、先生方が温かく見守ってくださり、また、新しい友人もできて少しずつ学校生活を楽しめるようになりました。中高一貫校ならではの落ち着いた雰囲気の中で、勉強や学校行事にも意欲的に取り組んでいる姿に成長を感じています。この1年で、自分で考えて行動する力が少しずつ身についてきたように感じます。また、同級生や先輩とのつながりも広がり、これからの学校生活で、さらに多くの経験を重ねながら成長していってくれることを楽しみにしています。

●息子が文理中学校に入学して1年が経ちました。中学校での勉強の大変さに、まだうまく順応できていないところはありますが、息子なりに頑張っている姿に、家族一同成長を感じています。内向的だった息子が、部活動にソフトボール部を選んだことは、親としてとても嬉しく、また本人にとって大切な決断だったと思っています。自発的に練習に参加し、帰宅後、「部活、楽しかった」と話してくれる姿から頼もしさを感じます。恵まれた環境を整えてくださっている先生方をはじめ関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。今後も、息子のやる気や努力を温かく見守りながら、親として支えていきたいと思っています。

●徳島文理中学校へ入学してからの1年間を振り返ると、先生方のきめ細やかなご指導と温かい環境のおかげで、娘の成長を日々実感しております。集団生活の中で時には立ち止まることもありますが、その都度、先生方が温かく見守り、前向きになれるよう導いてくださることに心より感謝しております。現在は、気の合う友人たちと過ごす穏やかな時間や、興味のある分野の学びに自分なりの楽しみを見出しているようです。この恵まれた環境の中で、これからも自分のペースを大切にしながら、心身ともに健やかに成長してくれることを願っています。

●学習速度が速いため、勉強についていけるのだろうか不安を抱えながらの入学ではありましたが、わからない問題は先生が親身に教えてくださり、授業は基礎から応用まで幅広い学習をしていただいています。そのような良い学習環境の中で娘は学校で友人と勉強を教え合ったり、家でも積極的に学習に取り組んでいます。学校行事もとても充実しており、特に体育祭や球技大会の前はクラスメイトと朝練習をしたり、本番も力を合わせることで、小学校時代からの友人だけではなく新しくできた友人とも友情が深まったようです。充実した学校生活を送り、夢に向かって日々成長する娘をこれからも応援したいと思います。

●中学生となり、小学校よりも科目数が増え、学習内容も深まる中で、自分なりに努力を重ねる姿が見られた1年でした。学習と両立しながらソフトボール部での活動にも励み、様々な小学校出身の友人と出会えたことは、本人にとって大きな成長につながっていると感じます。毎日、学食を楽しみにしており仲間と切磋琢磨できる環境の中で、多くの経験を積ませていただきました。学校行事や日々の授業を通して、自主性や協調性も少しずつ身につく、先生方の温かいご指導に感謝しております。今後も文武両道を目指し、自分の目標に向かって前向きに成長してほしいと思っています。

●入学して早くも1年が経過しました。文理小学校からの進学のため知り合いは多く、大きな緊張感は無く始まった中学校生活でした。しかし、最初のテストで自分の現在地を知り、親子共々身の引き締まる思いをしました。中高一貫校らしく、授業の速度は早いですが、先生方が粘り強く手厚くフォローして下さるおかげで、本人の意識は「やらされる勉強」から少しずつ変わってきました。その伸び代に、今は大きな期待を寄せています。学習面の壁はありますが、それ以上に学校での日々を楽しんでおり、毎日元気に自転車を漕いでいく後ろ姿に、親として何よりの喜びを感じています。

●この1年間、娘が制服のブレザーに袖を通し、荷物で一杯になったリュックを背負って登校していく様子を毎朝見守ってきました。入学直後は、友達ができるか、担任の先生がどんな方なのか等、不安も多かっただろうと思います。帰宅後は、強張った表情の日もあれば、やけに饒舌な日もあったことを覚えています。しかし、13歳という多感な年頃の娘が、この1年を強くしなやかに過ごせたのは、お互いを認め努力し合える学友に恵まれたことと、時には近く、時には取って遠くからサポートして下さる先生方に出会えたからではないかと思っています。クラスを超えた友人達との昼食や球技大会のための自主的な朝練、先生方による機知に富んだ授業など、その環境に感謝すると同時に、これからの5年間、様々な学校行事や体験を通じて、娘がどんな道を切り拓いていくのか期待しています。

3年間を終えて

高校1年生 保護者

●文理中学校に入学し、早いもので3年の月日が流れました。振り返れば、本校を選んで本当に良かったと心から実感しております。何より支えになったのは、先生方の温かく熱心なご指導です。思春期特有の悩みや進路の相談にも親身に耳を傾けてくださり、親としても大きな安心感の中で見守ることができました。また、文武両道を体現できる環境も魅力でした。学習面の充実はもちろん、部活動にも全力で打ち込むことができ、心身ともに逞しく成長する姿を頼もしく感じています。素晴らしい先輩や仲間恵まれ、充実した3年間を過ごせたことに深く感謝しています。

●中高一貫校としての6年間の学びに魅力を感じ入学を決めました。高校に進学した現在も落ち着いた環境の中で自分のペースを大切にしながら学習に取り組みしています。先生方のご指導と仲間と切磋琢磨できる雰囲気支援られ日々成長を実感しています。学習面だけでなく行事や部活動を通して豊かな人間性が育まれていると感じています。これからのさらなる成長が楽しみです。

●私自身も文理中高の出身で、6年間の青春を過ごしたこの場所に、息子を通わせることができ大変嬉しく思います。何より素晴らしいのは、多感な思春期の難しい時期に全力で寄り添ってくださる教師陣の存在と、中学から出会い絆を深め合っている仲間の存在です。中学3年間は海洋・広島・スキーと学年毎の研修、体育祭や文化祭、部活動、そして自学道場など、仲間と共に経験し成長できる場があり、大変充実した中学生を送ることができました。また、中学時代から高校生の先輩方をお手本に、将来をイメージして学べる点も6年制ならではの魅力です。

●徳島文理小学校からそのまま中学校へ進学しましたが、変わらず良い環境の中で毎日過ごしていると感じています。周りの友達から受ける良い刺激も多く、学習に前向きな雰囲気の中で自然と意識も高まっているようです。人は環境に左右されるものだと思うのですが、こうした環境で学んでいることをありがたく思います。また、授業も行事も中高一貫校ならではの6年間を見据えたスケジュールが組まれており、日々充実した学園生活を楽しく過ごしているようです。先生方も一人ひとりに丁寧に向き合ってくださいるので、安心して子どもを通わせることができている。

●中高一貫校には大きなメリットがある。高校受験がないことで、子どもは落ち着いて学校生活を送りやすいし、長いスパンで学びや経験を積める。上級生との関わりも多く、文化祭や部活などを通して自然と視野が広がる環境も魅力。中高一貫校はとても恵まれた環境ではあるけれど、「ま

だ中学生」であることを忘れやすい環境でもあると感じる。見た目は大人びていても、中学生は精神的にはまだ幼く、不安定で、感情のコントロールも未熟。放っておいても自動的に育つわけではない。自由度が高いからこそ、子どもの発達段階を見極めながら、大人側が丁寧に伴走することが重要なのではないかと感じる3年間であった。しかしその中で、多くの経験と出会いを重ねながら成長できたことに感謝している。文理で過ごした日々は、子どもにとって大切な土台になっていると感じている。

●振り返りますと瞬く間に過ぎていった3年間ありますが、子どもは大きく成長したと感じております。学習面では仲間と切磋琢磨する環境の中で力を伸ばしているように思います。部活動にも積極的に取り組み、仲間との関わりの中で多くの学びを得ている様子がうかがえます。最近では将来に向けた目標が見えてきたようで、自ら考えながら努力を重ねているように感じます。高校での3年間も、先生方の温かいご指導に支えられ、思い描く自分へと歩みを進めてほしいと思います。

6年間を終えて

卒業生 保護者

●大学進学を見据えると、高校受験の足踏みは無駄だろうと我が子をそそのかし、文理を受験しました。部活が楽しい中2で、テストの成績は…。公立へ転校し部活を重きに、勉強は高校受験でおさらいしても良いかと家族会議。「今の仲間と部活したい。授業は理解できている。」と。子を信じ、文理を信じることにしました。高2の夏までしっかり部活をやり遂げたと思いきや、急激に模試の成績が上向き。互いに教え合い向上する友に恵まれ、親身になって指導していただける先生がいました。中学からの積み重ねに無駄はありませんでした。難関大学合格という実を結んでくれました。人として逞しくなり、結果も伴い、文理には感謝しきれません。

●中高6年間の日々を終え、逞しく成長した我が子の姿に感無量です。入学当初はコロナ禍の真っ只中。不安な船出となりましたが、先生方が一所懸命に知恵を絞り、制限の中でも授業や学校生活を継続して下さったことに心から感謝しております。その尽力に応えるように、子どもたちは部活動や文化祭、体育祭等全行事に全力で取り組みました。同窓生でもある私の目にも、自分たちの時代より遥かに濃く、充実した時間に映りました。ここで出会えたかけがえのない友人たちは、何ものにも代えがたい一生の宝です。この学校を選んで本当に良かったと親子共々実感しています。温かく見守って下さった諸先生方及び職員の皆様、本当にありがとうございました。



理事長
村崎 文彦

1895(明治28)年、学園創立者・村崎サイ先生が「女性の自立」を唱え、村崎学園を創立され、2025年7月に130周年を迎えました。この間、本学園は「自立協同」の建学精神を掲げ、一貫して大学院生・学生・生徒・児童・園児のより良い将来のため、教育に貢献してまいりました。徳島文理中学校・高等学校では開学以来、徳島だけでなく、全国・世界で活躍される6,311名の卒業生を輩出してまいりました。

これまで理事長として、「自立協同」の建学精神・「照らし合いの精神」の二点を必ず生徒に伝えてきました。「自立協同」では、自立には他者からの協力や謙虚な姿勢が必要不可欠であること、「照らし合いの精神」では、卒業生が世界各地・様々な分野で本学の名を高めてくださると同様に、本学も常に一步上を目標に研鑽し、お互いを照らし合い、切磋琢磨していきこうと伝えております。

近年、社会は急速に変化し続けており、価値観や生き方も多様化しています。とりわけコロナ禍を経て、私たちは人と人とのつながりの大切さ、日常のかけがえのなさを改めて実感しました。朝起きて学校へ通い、仲間と語り、授業や部活動に取り組む。その一つひとつの積み重ねが、人生を形づくる大切な時間であることを、私たちは学びました。日常を取り戻し、本校生徒も学業のみならず、部活動や何気ない日々を全力で楽しんでおります。

文理でよかった、文理だから出会えた、そのような場であり続けられるよう、我々教職員が皆さんを全力でサポートいたします。皆さんのより良い未来のために尽力する教職員、より高みを目指す先輩たち、世界で活躍する卒業生が本学で皆さんを待っています。

ぜひ、本学でともに切磋琢磨してまいりましょう。



学校長
竹内 薫

中高6年間の継続的・系統的な指導によって生じるゆとりの中で、勉強だけでなく部活動や学校行事にも積極的に参加して、楽しい充実した学校生活を過ごしましょう。

本校の特色は、先取り学習と習熟度別学級編制です。受験科目は6年間の内容を5年間で終え、1年間余裕をもって二次試験対策や共通テスト対策ができます。2年生からの応用、発展クラスの習熟度別学級編制は、5年生から文系・理系難関、応用、発展クラスとさらに細分化して、学力に応じたきめ細かな指導を心がけています。

活躍する部活動を応援し、マイペースの楽しい部活動も奨励しています。学年毎の研修旅行や体育祭、文化祭、オーストラリア語学研修などの学校行事は、かけがえのない楽しい思い出となっています。

このような私立進学校としての特色が、東大15人(理Ⅲ5人)、国公立大学医学科144人(徳大医80人)(過去10年間)に代表される顕著な合格実績となって実を結んでいます。

10年毎に開催しているホームカミングには、毎回学校とホテルの会場に延べ1,000人近い卒業生と家族、教職員が集い、思い出や近況、抱負を語り合い、楽しいひとときを過ごしています。文理中学・高等学校を核として、同級生や先輩、後輩、教職員が固い絆で結ばれ、さらにその絆が親から子へと受け継がれていく。そんな私立進学校として皆さんと共に成長し続けることを願っています。

私立高校の授業料無償化が遂に実現し、所得制限なしに全ての生徒に457,200円(年額)が支給されています。多くの児童・生徒の皆さんに本校を選んでいただく環境が整いました。

学園の歩み 131年の伝統と信頼

学祖村崎サイ先生は、女性の自立を目指して、1895(明治28)年学園を創立しました。

その「自立協同」の建学の精神を一貫して受け継ぎ、徳島文理中学校・高等学校は進学指導を中核に品位と知性に富む心豊かな人格の形成を目指しています。

また21世紀をリードする国際人を養成するため、科学精神と言語能力の向上に力を注ぎ、海外交流校との親善訪問など国際理解教育に努めながら、各自の多様な能力や資質を十分に発揮できるように教育内容を設定しています。



創立者 村崎 サイ



第2代理事長 村崎 凡人



前理事長 村崎 正人



ふるさとの小豆島より四書五経 琴と車に乗りてきし祖母

村崎凡人第2代理事長歌碑のこの歌は、学祖村崎サイ先生が教員となり、徳島に学校を開校すべく、勉学に使った四書五経の本と、愛用の琴を携えて人力車に乗り、故郷小豆島を出発するときの立志を詠んだものである。



学園の沿革 1895～2026

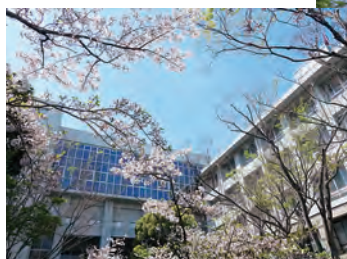
- 明治** 1895(明治28年) 村崎サイ先生が「女性の自立」を建学の精神として学園創立
- 大正** 1924(大正13年) 徳島女子職業学校併置
- 昭和** 1944(昭和19年) 村崎女子商業学校認可
- 1948(昭和23年) 村崎女子高等学校と改称
- 1958(昭和33年) 徳島女子高等学校と改称
- 1961(昭和36年) 徳島女子短期大学開設
- 1966(昭和41年) 徳島女子大学開設 家政学部設置
- 1968(昭和43年) 音楽学部設置
- 1972(昭和47年) 徳島文理大学と改称 薬学部設置
- 1973(昭和48年) 徳島文理大学附属幼稚園開設
- 1975(昭和50年) 徳島文理大学附属中学校開設
音楽専攻科設置
- 1976(昭和51年) 徳島女子高等学校を徳島文理高等学校と改称
徳島文理大学附属中学校を徳島文理中学校と改称
- 1980(昭和55年) 北京師範大学第二附属中学(師大二附中)との交流始まる
- 1981(昭和56年) 師大二附中と姉妹校提携
- 1983(昭和58年) 香川キャンパスを開学 文学部設置
- 1984(昭和59年) 徳島文理小学校開設
- 平成** 1989(平成元年) 師大二附中との姉妹校交流10周年記念行事
工学部を香川キャンパスに設置
- 1993(平成5年) 家政学専攻科設置
- 1995(平成7年) 学園創立100周年記念式典挙行
- 1998(平成10年) 家政学部人間発達学科、文学部文化財学科、工学部環境システム工学科設置
- 1999(平成11年) 短期大学部文科を言語コミュニケーション学科に改組転換
- 2000(平成12年) 師大二附中との姉妹校交流20周年記念行事
総合政策学部総合政策学科を徳島キャンパスに設置
- 2002(平成14年) 家政学部を人間生活学部へ改組転換
- 2003(平成15年) 人間生活学部人間福祉学科 心理学を新設
- 2004(平成16年) 工学部にナノ物質工学科を新設
- 2005(平成17年) 家政学研究科を人間生活学研究科に改称/家政

- 学専攻科を人間生活学専攻科に改称
- 学園創立110周年記念式典挙行
- 2006(平成18年) 人間生活学部生活情報学科を人間生活学部メディアデザイン学科と改称/薬学部薬学科<6年制>設置/香川薬学部薬学科<6年制>設置/香川薬学部薬科学科<4年制>設置
- 2007(平成19年) 工学部臨床工学科設置/人間福祉学部設置
- 2008(平成20年) 徳島文理高等学校にスーパー・アカデミックSA(難関大学・学部)コース設置
人間福祉学部を保健福祉学部と改称/保健福祉学部看護学科設置/機械電子工学科を機械創造工学科と改称/情報システム工学科を電子情報工学科と改称/英米言語文化学科を英語英米文化学科と改称
- 2009(平成21年) 徳島文理中学校・高等学校 本館新校舎完成
工学部を理工学部と改称/助産学専攻科設置/住居学科を建築デザイン学科と改称
- 2010(平成22年) 保健福祉学部理学療法学科設置
裏千家千宗室お家元をお招きし、茶室披露(一珠庵)
師大二附中との姉妹校交流30周年記念行事
- 2012(平成24年) 香川キャンパスに保健福祉学部設置/保健福祉学部診療放射線学科設置/臨床工学科を理工学部から保健福祉学部へ移行
- 2014(平成26年) 看護学研究科(修士課程・徳島キャンパス)設置
- 2015(平成27年) 学園創立120周年記念2号館アカンサスホール完成(徳島キャンパス)
学園創立120周年記念式典挙行
- 2016(平成28年) 徳島文理中学校・高等学校 ホームカミング開催
- 2017(平成29年) 保健福祉学部口腔保健学科設置
- 令和** 2019(令和元年) トレーニングセンター完成(徳島キャンパス)
- 2020(令和2年) 学園創立125周年記念式典
- 2022(令和4年) 高松駅キャンパス起工式
- 2024(令和6年) 高松駅キャンパス竣工式
- 2025(令和7年) 高松駅キャンパス開校/高松駅キャンパスに総合政策学部経営学科設置/学園創立130周年記念式典挙行

生徒状況 出身郡市別生徒数

(令和8年5月1日現在)

	中学校				高校				総数
	1	2	3	計	1	2	3	計	
県内計	89	104	78	271	95	99	104	298	569
県外計	1	2	1	4	4	3	1	8	12
総計	90	106	79	275	99	102	105	306	581
男子計	46	55	40	141	44	56	47	147	288
女子計	44	51	39	134	55	46	58	159	293
総計	90	106	79	275	99	102	105	306	581



教職員組織

(令和8年度)

理事長	村崎 文彦	国 語	内藤 雄生	社 会	大久保芳純	理 科 (講師)	村田 和生		
校長	竹内 薫		吉田 江里		仲岡 学		井貝 充利		
学 監	村崎 文彦		吉谷 篤志		島田 洋二		藤本 和夫		
教 頭	山城 喜義	理 科	木田 文彦	松村 啓司	数 学 (講師)	吉岡 隆徳			
	戸川 孝治		古川 文生	林 智行		吉松 勲			
英 語	大久保道弘		数 学	岡 美代司	保 健 体 育	玉田 晋作	社会 (講師)	増田 智一	
	西 憲治			宮本 秀樹		西田 凌介	情報 (講師)	湯浅 真典	
	上村 真一			宮崎 威		古城 優	音 楽 (講師)	高田亜紀代	
	上村 治子		富島美和子	小坂 舞	花谷 弘子				
	(ALT)	Maranan F.Jeal	社 会	山城 喜義	情報・技家	柴山 寿徳	美術 (講師)	三木 敬宇	
	国 語	岡田 康男		喜多 博文	糸林 祐紀	技術・家庭	中島美恵子	書 道 (講師)	澤田 正代
		立石 有礎		村山 恵子	村山 恵子	養護教諭	安藝 敦子		事 務
		清水 英洋		徳元 隆	徳元 隆	英 語 (講師)	浜出 恵子	辻岡 千明	
善本 洋之		志磨 正師		志磨 正師	吉成 泰代		技 師	河原 浩幸	
村田 光		田中 和利	田中 和利	竹島慎一郎	ス ク ー ル カウンセラー			角瀬 公子	
	岡田 光弘	岡田 光弘	秋田 泰弘	太田 雅彦		岸本いつみ			
	仲岡 宏紀	仲岡 宏紀	太田 雅彦	原 誠吾					
	大橋 雅利	大橋 雅利	寺澤 康文	寺澤 康文					



令和9年度 徳島文理中学校 入学者選抜要項

1. 募集人員

第1学年 前期…男女150名 後期…男女30名

2. 応募資格

小学校を令和9年3月卒業見込みの者

3. 願書受付

*受付期間

前期	令和8年12月1日(火) ～12月11日(金) 必着
後期	令和9年1月21日(木) ～1月28日(木) 必着

*受付時間

9:00～16:00

※ただし、土曜日の午後と日曜日・祝日は除きます。

*受付場所

徳島文理中学校 〒770-8054 徳島市山城西4丁目20

*出願手続

提出書類……入学願書・写真票・受験票

入学検定料……20,000円

※受付期間以前にも振込はできません。

- 本校所定の入学願書・写真票(カラー)・受験票・振込依頼書・領収書の連票に所定事項を黒のボールペンで記入し、切り離さずに入学検定料を添えて、銀行または信用金庫・信用組合・農協の窓口に表示し、写真票と領収書に収納印をもらってください。
※ゆうちょ銀行からの振込はできません。
- 振込が終わったら、入学願書・写真票・受験票を所定の封筒に入れ、徳島文理中学校あてに郵送または持参してください。なお、振込時の領収書は大切に保管してください。前期は12月17日(木)までに、後期は1月29日(金)までに受験票が届かない場合は、徳島文理中学校まで連絡してください。
- いったん提出した書類および入学検定料などは返還できません。

注意 入学願書は徳島文理中学校、または学園本部で受け取ってください。郵送ご希望の方は、郵便番号・あて名を明記し、「中学願書請求」と朱書して請求してください。

4. 入学試験

*試験日

前期	令和8年12月27日(日)
後期	令和9年1月31日(日)

受験生は8時25分までに受付を済ませてください。

*試験場

徳島文理中学校 ※駐車できます。

*試験科目

国語・算数・面接

*試験日程

8:00～8:25	受付
8:30～	諸注意
9:00～10:00	国語
10:15～11:15	算数
11:50～	面接

注意 1. 当日は次のものを持参してください(上履きは必要ありません)。

- ①受験票
- ②通知表のコピー (6年生2学期末・2学期制の場合は1学期末すべての面がわかるように)。
- ③筆記用具 鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・コンパス・定規(三角定規も可)
- ④時計 ※ただし、分度器付きの定規・計算機付きの時計・携帯電話等必要のないものは持ち込めません。

2. 面接は受験生のための個人面接(5分程度)です。

5. 合否結果通知

前期	令和8年12月29日(火)
後期	令和9年2月2日(火)

受験生に合否の通知書を郵送します。電話による合否についての問い合わせにはお答えできません。

6. 合格者説明会

*日時

前期	1月4日(月) 午前10時から
後期	2月6日(土) 午後2時から

*会場

徳島文理中学校

7. 入学手続き

*手続き期間

前期	1月8日(金) 午後2時まで
後期	2月12日(金) 午後2時まで

入学金などを所定の用紙により納入してください。

*納入費用

入 学 金……200,000 円

保護者会入会金…… 3,000 円

※期日までに納入がない場合は、入学を辞退したものとみなします。

※いったん納入した入学金などは返還できません。

8. 入学式

令和 9 年 4 月 7 日(水)

9. 入学後毎月納入する費用 寄付金・学費はありません

授 業 料	40,000 円
施 設 設 備 費	17,000 円
函 書 費	400 円
校 友 会 費	200 円
体 育 後 援 会 費	200 円
保 護 者 会 費	200 円
合 計	58,000 円

転入試験について

- ・ 試 験 日……令和 8 年 7 月 11 日(土)
- ・ 試 験 科 目……国語・数学・英語
- ・ 願 書 受 付……令和 8 年 7 月 2 日(木)～7 月 8 日(水)
- ・ 合 格 者 発 表……本人あて通知
- ・ 手 続 き 締 切……令和 8 年 7 月 17 日(金)

- ・ 試 験 日……令和 8 年 11 月 28 日(土)
- ・ 試 験 科 目……国語・数学・英語
- ・ 願 書 受 付……令和 8 年 11 月 20 日(金)～11 月 26 日(木)
- ・ 合 格 者 発 表……本人あて通知
- ・ 手 続 き 締 切……令和 8 年 12 月 4 日(金)

- ・ 試 験 日……令和 9 年 3 月 6 日(土)
- ・ 試 験 科 目……国語・数学・英語
- ・ 願 書 受 付……令和 9 年 2 月 24 日(水)～3 月 2 日(火)
- ・ 合 格 者 発 表……本人あて通知
- ・ 手 続 き 締 切……令和 9 年 3 月 12 日(金)

●上記以外の事項については、
入試広報室・☎(088) 626-1225 にお問い合わせください。

オープンスクール・学校説明会

開催日：令和 8 年 7 月 4 日(土)
日 程：12：00～ オープンスクール
13：00～ 学校説明会
15：30～ 個別相談会(希望者)

入試説明会・授業体験

開催日：令和 8 年 10 月 3 日(土)
日 程：14：00～ 開会の挨拶
入試問題講習会(合格答案の書き方)
授業体験
16：30～ 個別相談会(希望者)

開催場所：徳島文理中学校・高等学校(駐車できます) ※進路相談・学校見学 随時受け付けています。

出願から入学手続きまでの会場は徳島文理中学校・徳島文理高等学校になっています(中高共通です)

出願
手続き

試験場

合格者
説明会

入学
手続き

徳島文理中学校・徳島文理高等学校

〒770-8054 徳島市山城西4丁目20 ☎(088) 626-1225(代)

令和9年度 徳島文理高等学校 入学者選抜要項

1. 募集人員

男女 300 名（徳島文理中学校出身者を含む）
【推薦選抜】 専願
【一般選抜】 専願・併願

2. 応募資格

中学校を令和 9 年 3 月卒業見込みの者

3. 推薦選抜出願要件 次のいずれかに該当する者

*要件Ⅰ（学力）

学校長が成績優秀で本校にふさわしい意欲的な人物であると認め推薦する者。原則として中学校 3 年間の国語等 5 教科の評定平均値が 4.5 以上の者。

*要件Ⅱ（特色選抜）

次の①～④のいずれかの条件を満たし、かつ学校長が成績優秀で本校にふさわしい意欲的な人物であると認め推薦する者。但し中学校 3 年間の国語等 5 教科の評定平均値が 4.5 に準ずる者。

- ①剣道（男女）：原則として県大会団体ベスト 8 以上のレギュラー選手、個人ベスト 32 以上の者。
- ②サッカー（男）：県大会出場チームのレギュラー選手。
- ③フェンシング（男女）：フェンシング協会主催の県大会以上の大会に出場経験のある者。
- ④その他、特色ある実績がある者。（例）英検 2 級以上、文化活動等で県大会や全国大会で優勝や準優勝、それに準ずる成績の者など。

4. 願書受付

*受付期間

推薦選抜	令和 8 年 12 月 14 日（月） ～ 12 月 18 日（金） 必着
一般選抜	令和 9 年 1 月 12 日（火） ～ 1 月 20 日（水） 必着

*受付時間

9：00～16：00 ※ただし、土曜日の午後と日曜日・祝日は除きます。

*受付場所

徳島文理高等学校 〒770-8054 徳島市山城西 4 丁目 20

*出願手続

提出書類…【推薦選抜】入学願書・写真票・受験票、
推薦書・調査書
【一般選抜】入学願書・写真票・受験票

入学検定料……20,000 円

※受付期間以前にも振込はできません。

- 本校所定の入学願書・写真票（カラー）・受験票・振込依頼書・領収書の連票に所定事項を黒のボールペンで記入し、切り離さずに入学検定料を添えて、銀行または信用金庫・信用組合・農協の窓口で提示し、写真票と領収書に収納印をもらってください。
※ゆうちょ銀行からの振込はできません。
- 振込が終わったら、入学願書・写真票・受験票を所定の封筒に入れ、徳島文理高等学校あてに郵送または持参してください。推薦選抜については、推薦書・調査書を中学校で記入してもらい、厳封したものを同封してください。なお、振込時の領収書は大切に保管してください。推薦選抜は 1 月 2 日（土）までに、一般選抜は 1 月 19 日（火）までに受験票が届かない場合は、徳島文理高等学校まで連絡してください。
- いったん提出した書類および入学検定料などは返還できません。

注意 入学願書は徳島文理高等学校、または学園本部で受け取ってください。郵送ご希望の方は、郵便番号・あて名を明記し、「入学願書請求」と朱書して請求してください。

5. 入学試験

*試験日

推薦選抜	令和 9 年 1 月 7 日（木）
一般選抜	令和 9 年 1 月 23 日（土）

受験生は 8 時 25 分までに受付を済ませてください。

*試験場

徳島文理高等学校 ※駐車できます。

*試験科目

【推薦選抜】 作文・面接
【一般選抜】 国語・英語・数学・面接

*試験日程

【推薦選抜】	8:00～8:25	受付
	8:30～	諸注意
	9:00～10:00	作文
	10:20～	面接
【一般選抜】	8:00～8:25	受付
	8:30～	諸注意
	9:00～10:00	国語
	10:15～11:15	英語
	11:30～12:30	数学
		※昼食…各自でご用意ください。
	13:20～	面接

注意 1. 当日は次のものを持参してください（上履きは必要ありません）。

- ①受験票
- ②通知表のコピー（3年生2学期末・2学期制の場合は1学期末）
すべての面がわかるように。 ※推薦選抜は不要です。
- ③筆記用具 鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム・コンパス・
定規（三角定規も可）
※推薦選抜は鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム
- ④時計 ※ただし、分度器付きの定規・計算機付きの時計・携帯電話
等必要のないものは持ち込めません。

2. 面接は受験生のための個人面接（5分程度）です。

6. 合否結果通知

推薦選抜 令和 9 年 1 月 9 日 (土)

一般選抜 令和 9 年 1 月 26 日 (火)

受験生に合否の通知書を郵送します。電話による合否についての問い合わせにはお答えできません。

7. 合格者説明会

*日時

推薦選抜 1 月 16 日 (土) 午後 2 時から

一般選抜 1 月 30 日 (土) 午後 2 時から

*会場

徳島文理高等学校

8. 入学手続き

*手続き期間

推薦選抜 1 月 22 日 (金) 午後 2 時まで

一般選抜 2 月 4 日 (木) 午後 2 時まで

入学金などを所定の用紙により納入してください。

*納入費用

入 学 金……200,000 円

保護者会入会金…… 3,000 円

※期日までに納入がない場合は、入学を辞退したものとみなします。

※いったん納入した入学金などは返還できません。

9. 入学式

令和 9 年 4 月 7 日 (木)

10. 入学後毎月納入する費用 寄付金・学債はありません

授 業 料	40,000 円
施 設 設 備 費	17,000 円
図 書 費	400 円
校 友 会 費	200 円
体 育 後 援 会 費	200 円
保 護 者 会 費	200 円
合 計	58,000 円
授業料無償化補助金	-38,100 円
実質負担額	19,900 円/月

私立高校授業料無償化！

年間 **457,200 円** 支給

所得制限無し

転入試験について

- ・試験日……令和 8 年 7 月 11 日 (土)
- ・試験科目……国語・数学・英語
- ・願書受付……令和 8 年 7 月 2 日 (木)～7 月 8 日 (水)
- ・合格者発表……本人あて通知
- ・手続き締切……令和 8 年 7 月 17 日 (金)

- ・試験日……令和 8 年 11 月 28 日 (土)
- ・試験科目……国語・数学・英語
- ・願書受付……令和 8 年 11 月 20 日 (金)～11 月 26 日 (木)
- ・合格者発表……本人あて通知
- ・手続き締切……令和 8 年 12 月 4 日 (金)

- ・試験日……令和 9 年 3 月 6 日 (土)
- ・試験科目……国語・数学・英語
- ・願書受付……令和 9 年 2 月 24 日 (水)～3 月 2 日 (火)
- ・合格者発表……本人あて通知
- ・手続き締切……令和 9 年 3 月 12 日 (金)

●上記以外の事項については、
入試広報室・☎(088) 626-1225 にお問い合わせください。

●出願から入学手続きまでの会場は徳島文理中学校・徳島文理高等学校になっています（中高共通です）。

徳島文理中学校 徳島文理高等学校

■ お問い合わせは、下記までお願いします。

**徳島文理
中学校
・
高等学校** 〒770-8054 徳島市山城西4丁目20 入試広報室
TEL: (088) 626-1225 FAX: (088) 655-1699
URL: <http://bunri.ed.jp/>
e-mail: koho@bunri.ed.jp



**学園
本部** 〒770-8560 徳島市寺島本町東1丁目8 (JR徳島駅東へ徒歩3分)
TEL: (088) 622-0097 FAX: (088) 626-2998

**交通
機関** JR 徳島駅からバスで15分
市バス3番乗り場から9または22の「山城町(ふれあい健康館)」
行き「文理小学校前」下車

